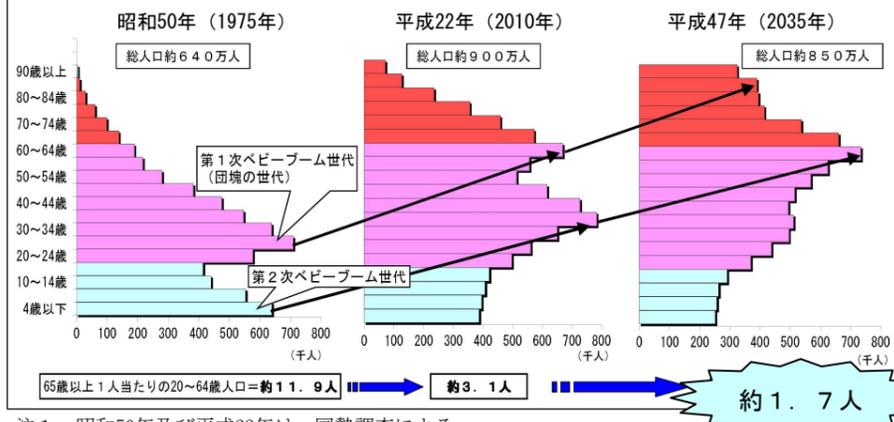


神奈川県における高齢者を取り巻く状況

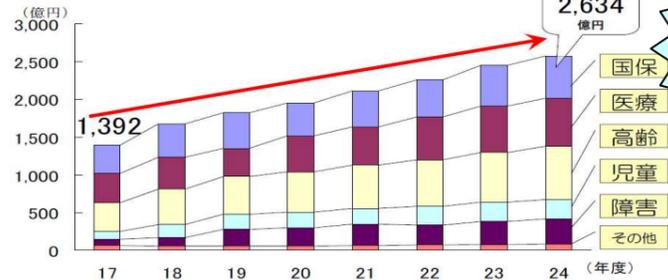
高齢者の急速な増加



注1 昭和50年及び平成22年は、国勢調査による。
2 平成47年以降は、国立人口問題研究所による推計。

介護・医療関係費の増大

介護・措置・医療等関係費の推移



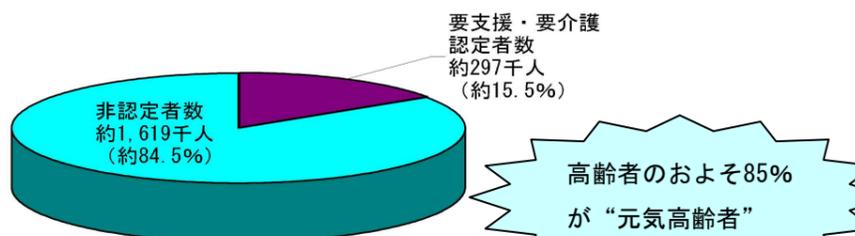
県税収入に占める介護等関係費の割合

区分	平成17年度	平成24年度
介護・措置・医療関係費 (a)	1,392	2,634
県税収入 (b)	9,991	9,952
a/b	13.9%	26.5%

注 県緊急財政対策資料より。

高齢者の大多数が“元気高齢者”

介護保険 第1号被保険者数（約1,916千人）の内訳



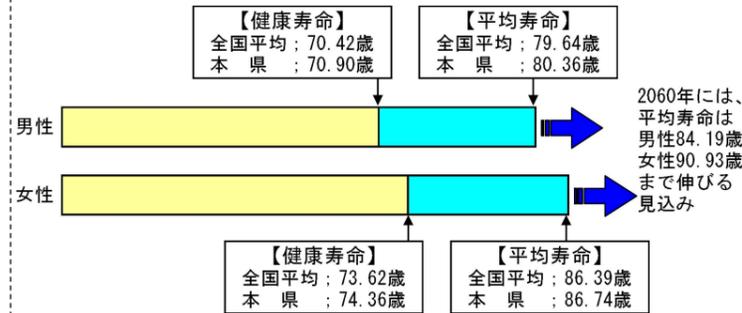
注 介護保険事業状況報告（平成24年9月末）による。

取り組むべき課題

健康寿命の延伸に向けたアプローチ

医療・介護などの社会保障関係費の増加抑制を図り、高齢者が活き活きと生活できるよう、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸に向けたアプローチが必要ではないか。

平成22年（2010年）の健康寿命と平均寿命



【本県の健康寿命】

男性：70.90歳 全国12位（1位は愛知県71.74歳）
女性：74.36歳 全国13位（1位は静岡県75.32歳）

注 平均寿命の実績は厚生労働省「簡易生命表」により、推計は国立社会保障・人口問題研究所による。

高齢者マンパワーの活用

働き続ける意欲をもった高年齢者が就業して経験や知識を生かせるようにすることや、NPOやボランティアなど高齢者の社会参画活動による地域の担い手として、高齢者のマンパワーの活用が必要ではないか。

多世代が安心して暮らせるまちづくり

若者から高齢者までの多世代が安心して暮らせるよう、多様な住まいや移動手段などを考慮したまちづくりが必要ではないか。

本県の主な取組み（健康・生きがいづくり）

～20年後も、いのち輝くマグネット神奈川を～

いのち全開宣言～「健康寿命」日本一をめざす～

○「食」を通じた健康づくり

- 健康食材の普及
- 健康食生活の実践
- 健康ツーリズムの推進
- 未病を治す漢方の普及



○「地域」からの健康づくり

- 介護予防体操 全県展開！
- 保健師パワー フル活用！

○その他の介護予防・健康づくり

通所型介護予防教室・訪問など（市町村）、ボランティアポイント制度の普及促進、8020運動（歯・口腔の健康づくり）

社会参画の推進

○社会参画活動への支援

- 老人クラブによる友愛訪問活動
- ボランティア活動の推進（かながわボランティアセンター・かながわ県民活動サポートセンターにおける取組み）



○就業・起業に対する支援

- シニア・ジョブスタイル・かながわにおけるキャリアカウンセリング等の実施
- 起業支援の促進



生涯学習・生涯スポーツの推進

○生涯学習・生涯スポーツへの支援、活動・交流の場の提供

- 健康・体力づくり運動の推進（3033運動）
- 「ゆめかながわシニアフェスタ」の開催
- 「ねんりんピック（全国健康福祉祭）」への参加支援
- 中高年ホームファーマー事業の実施

安全・安心な地域づくり

○魅力的なまちづくり

- 多世代近居のまちづくり・バリアフリーの街づくりの推進

○事故や犯罪被害などの防止

- 交通安全のためのエアロビック「トラビック」の普及推進
- 防犯教室・消費生活相談等の実施